

2. 大分市デジタルアーカイブ～おおいたの記憶～ 6月1日公開！

大分市の貴重な文化的資料等をインターネットで見ることができます

1. 大分市デジタルアーカイブの公開（URL <https://oitacity-archive.jp>）

令和5年6月1日から「大分市デジタルアーカイブ～おおいたの記憶～」を一般公開します。

この「大分市デジタルアーカイブ」は、市内に残る有形無形の文化財・史跡のほか、地域の行事や伝統芸能、豊かな自然や景観・まちなみ等の文化資源を一元的に管理するデータベースと、それらを公開するウェブサイトのことで、このようなサイトの運用は県内自治体で初めてとなります。

公開時点では、美術館・図書館・歴史資料館の約1,500件の収蔵資料や指定文化財などが閲覧できるようになっており、今後も、学校や公民館などにおいて市民の利用を促進すると同時に、コンテンツのさらなる充実を図り、大分市デジタルアーカイブの魅力の向上に努めていきます。

2. 本事業の目的(DXによる地域文化資源の継承及び活用推進事業)

大分市デジタルアーカイブの運用により、市内に残る貴重な文化資源を次世代へ継承してだけでなく、観光・教育・産業など、様々な分野へ活用されていくことを目的としています。

近年の急速な社会構造の変容などにより消滅の危機にある文化資源を一元管理



3. 大分市デジタルアーカイブの特徴

目的に合わせた検索や閲覧が可能

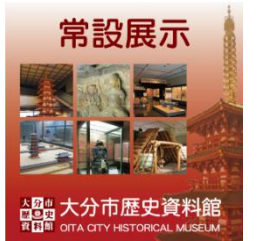
利用者のPC・スマートフォン等から、フリーワード検索をはじめ、「地域」「時代」「ジャンル」「所蔵館」など、ユーザーの目的に合わせた方法で検索・閲覧することができます。



主なコンテンツの紹介

【デジタル企画展】

美術館、図書館、歴史資料館での特別展示等と連動させることで、より詳しい解説等が閲覧できるようになり、デジタルとの相乗効果でユーザーの満足度を高めることができます。



【大分の今昔】

今と昔の写真を比較して閲覧できます。市内各地の風景や街並みの変遷を記録するだけでなく、古写真を通じて住んでいる地域に関心を持ってもらい、郷土愛を醸成することを目的としています。



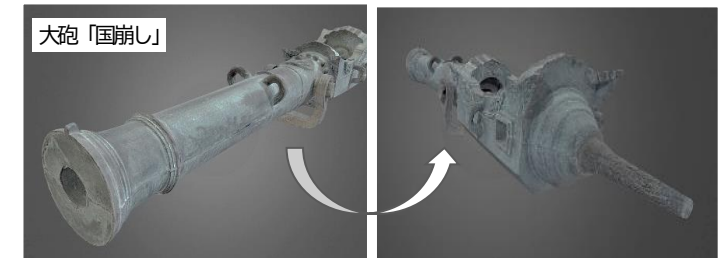
【御城下絵図の世界】

「御城下絵図」(歴史資料館所蔵)府内城下の様子(浜の市見物に行く府内藩主の行列)を絵巻物仕立てで描いたもの

絵巻物「御城下絵図」(市指定有形文化財)を、専用ビューワで高画質のまま、解説付きで閲覧することができます。30mにも及ぶ絵巻物の全体像を見ることができるのがデジタルアーカイブの大きな特徴の一つです。

【3Dミュージアム】

貴重な文化財を3Dで撮影し、普段は見ることができない角度や距離から、360度自由な視点で閲覧することができます。



【自治体史・逐次刊行物】

大分市史のほか、旧市町村の自治体史、各館の年報や研究報告などを閲覧できます。

4. 活用事例



【教育活用】
 小中学校をはじめ、学校教育における教材や教育プランなどでの活用



【まち歩き】
 古絵図や古写真を使った史跡探索やまち歩きイベントでの活用



【商品開発】
 利活用可能なオープンデータを用いたロゴの作成など民間企業での活用